

point

POINT INTERIM REPORT 2008
第58期 中間報告書
2007.3.1～2007.8.31

株式会社 ポイント
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目7番2号 八重洲三井ビルディング10階
Tel.03-3243-6011 Fax.03-3243-6022
<http://www.point.co.jp/>



当社における環境問題への取り組みを「エコポ」と名づけました。今後、様々な観点から環境への配慮を心掛けていきます。
本報告書は再生紙を使用しています。

enjoy?

楽しんでいますか？

ファッションを、仕事を、そして人生を。
私たちは、ファッションを通じてすべての人に
enjoyすることを提案します。

Enjoying your fashion, work and life?
We propose to everyone “enjoying” through our fashion.

CONTENTS

株主の皆様へ	02	財務ハイライト(連結)	08
店舗情報	03	連結財務諸表	09
トピックス	05	会社概要/株主情報	13
アンケート結果のご報告	07		

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
第58期中間期における事業のご報告をするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

代表取締役社長 石井 稔晃



当社グループは、「ビジネスモデルの展開と企業力強化」をテーマとする中期経営計画(TOP9)で掲げた基本戦略に沿って、様々な施策を実行し、当期も期初の計画通り進捗しております。

当中間期は、春先の低気温や長い梅雨など天候不順の影響から、販売が低調な時期もありました。しかしながら、グローバルワークの15店舗をはじめとする国内46店舗の積極的な新規出店を行い、当中間期末における国内店舗数を404店舗とし、連結ベースで売上高320億77百万円(前中間期比20.8%増)、経常利益53億48百万円(同8.4%増)、中間純利益30億65百万円(同12.7%増)となりました。売上の面では、各ブランドとも実績を順調に伸ばしており、特に、昨年からの新ブランドであるアパートバイローリーズ、アンダーカレント、レブシムローリーズファームが

大きく伸ばしました。利益面では、各ブランドのアウトレット商品販売を行っているナインブロックの販売力を強化したことが奏効し、売上総利益率が前中間期比1.2ポイントの向上となりました。そのほか、広告宣伝の戦略的な取り組みや人材の採用を積極的に実施し、成長継続のための取り組みを行いました。

下期は、グローバルワーク、レブシムローリーズファームを中心に出店を加速させるとともに、大型店舗へのチャレンジや、一部店舗の本部直轄店舗化によるコミュニケーションの強化などに取り組みます。さらに、Eコマース事業を自社サイトで本格展開します。前期にインターネット通販サイトへの出店という形でスタートしたEコマース事業ですが、お客様から予想以上の反響をいただき、新たな販売チャネルとしての可能性を見出しました。そこで、自社でEコマースの

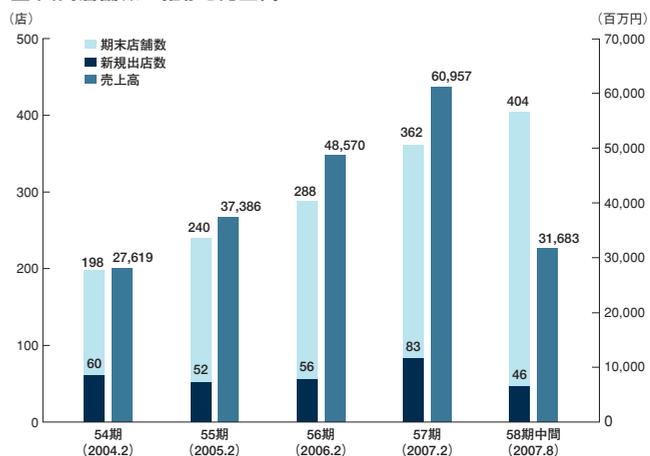
インフラを整え、2007年10月1日からローリーズファーム、グローバルワークなど6ブランドによるインターネットショッピングサイトをオープンしました。リアル店舗からのメールマガジンの送付や、お客様やスタッフからのコーディネートの投稿により、リアル店舗との相乗効果を図りつつ展開する計画です。

今後も株主の皆様へ末長く株式を保有いただけるよう、これまでの成長に満足することなく、新たなチャレンジを続け企業価値を高めてまいりますので、引き続きご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

積極的な出店と改装により、さらなる成長を継続しています。

当中間期の売上高は、前中間期比20.8%増となり、さらなる成長を図ることができました。国内既存店売上高は前中間期比95.6%と、計画値である96%に対して僅かに届きませんでしたが、新店の寄与により、各ブランドとも売上を伸ばすことができました。ローリーズファームは既存店のリニューアル等により高水準の売上を維持、グローバルワークは前期からの積極的な出店により売上を伸ばすことができました。この主力2ブランドに続く第3の柱としてジーナシスが成長を見せ、これら主要3ブランドに続くレイジブルー、ヘザー、ハレも急成長を遂げることができました。さらに、昨年度立ち上げた新ブランドであるアパートバイローリーズ、アンダーカレント、レプシムローリーズファームも大きく伸長しました。出店面では、グローバルワーク15店舗を中心に、各ブランドとも積極的に新規出店を行いました。国内では46店舗の出店、4店舗の退店の結果、中間期末時点での国内店舗数は404店舗となりました。また、ローリーズファーム6店舗を中心に、合計で15店舗の改装を実施し、既存店の活性化に努めました。

■ 国内店舗数の推移と売上高



■ エリア別各ブランド国内店舗数

ブランド	エリア							合計
	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	(単位: 店)	
ローリーズファーム	10	43	16	16	9	12		106
アパートバイローリーズ	0	8	3	0	2	0		13
レプシムローリーズファーム	1	3	1	3	0	2		10
グローバルワーク	15	47	18	17	5	17		119
アンダーカレント	3	7	0	1	0	0		11
ジーナシス	4	25	5	8	3	5		50
レイジブルー	3	11	5	7	1	5		32
ハレ	2	10	4	4	0	2		22
ヘザー	3	11	5	5	1	3		28
ナインブロックス	2	5	2	1	1	2		13
合計	43	170	59	62	22	48		404

※ZOZOTOWER 3店舗(ローリーズファーム、ジーナシス、ハレ)は、関東での出店にカウントしていません。

新規OPENした店舗を紹介します。

グローバルワーク ららぽーと横浜店

グローバルワークららぽーと横浜店を、今年3月に開業した神奈川県最大級の商業施設「ららぽーと横浜」にオープンしました。神奈川県下8店舗目、横浜エリア3店舗目となるブランドの認知度を活かし、有名セレクトショップや海外ブランドショップがひしめく環境の中でも毎日多くのお客様で賑わっています。



GLOBAL WORK

レプシムローリーズファーム 流山おおたかの森店

前期より展開したレプシムローリーズファームとして最大規模の店舗を、つくばエクスプレス線の駅と直結したショッピングセンターの流山おおたかの森S・Cにオープンしました。店舗面積をこれまでの約1.5倍に広げ、ゆったりとショッピングいただける環境を提供することで、幅広い層のお客様へブランドの魅力を発信していきます。



LEPSIM
LOWRYS FARM

アパートバイローリーズ 静岡パルコ店

静岡県下初のショップを、同じく静岡県初上陸となるパルコ静岡店にオープンしました。以前は百貨店が営業していた建物がファッションビルに生まれ変わったこともあり、オープンから幅広い年代のお客様にご来店いただいています。静岡初出店となる他の多くのテナントとともに、流行や文化の新しい風を吹き込ませます。



apart by lowrys

ハレ 立川ミネ店

東京都下では初の駅ビル立地となるハレ立川ミネ店をオープンしました。渋谷・原宿のファッションストリートの空気感を、日々数多くの人々が利用し、通過するターミナルの立地でリアルタイムに表現することで、ブランドの認知拡大を図るとともに、新たなニーズの掘り起こしにチャレンジします。



HARE

01 インターネットショッピングサイトがオープンしました。

2007年10月、ローリーズファーム、グローバルワーク、ジーナシス、レイジブルー、ハレ、ヘザーの6ブランドのショッピングサイトとして「ポイントEC SHOP」がオープンしました。

いずれも実際の店舗とほぼ同じ品揃えを確保するとともに、商品の詳細ページにはモデル着用の写真を掲載するなどECサイトとしての機能が充実。また、会員登録をいただいた方には、お買い物をするたびに当サイトで使用可能な「お買い物ポイント」を差し上げるなどのお楽しみもあります。また、ショップページでは各店舗のホームページを運営しており、会員登録時に普段ご利用されている店舗をご登録いただくと、メールマガジンでイベント情報などをお知らせします。

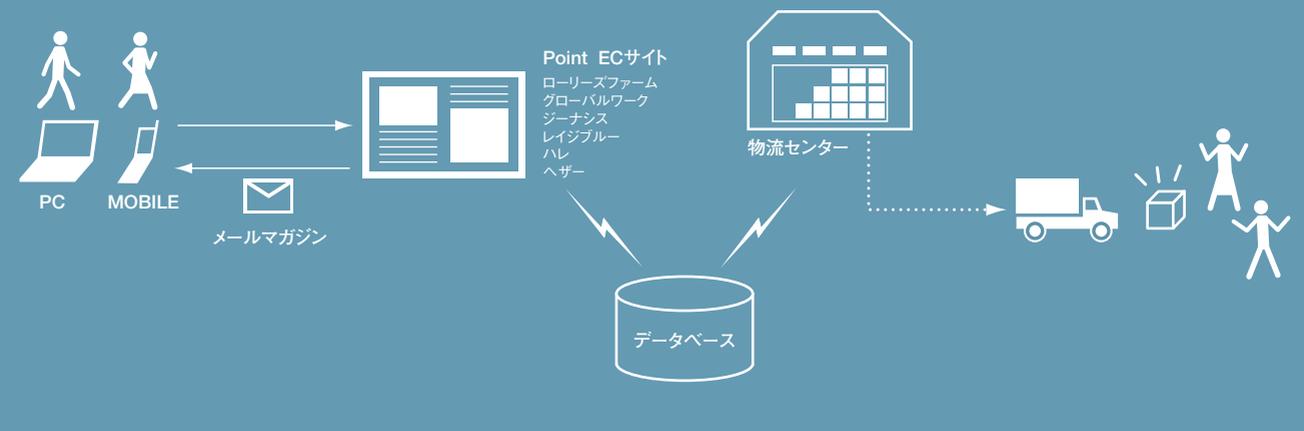
さらに、アイテムページでは、お客様や店舗スタッフからの投稿によるスタイル写真を多数掲載します。多彩なコーディネートを投稿を媒体に、日本全国のお客様とスタッフ参加型の双方向サイトとすることで、より一層ブランドイメージへの理解を深めていただくことを目指しています。



- www.lowrysfarm-ec.jp
- www.globalwork-ec.jp
- www.jeansis-ec.jp
- www.rageblue-ec.jp
- www.hare-ec.jp
- www.heather-ec.jp



◆ECサイトの流れ

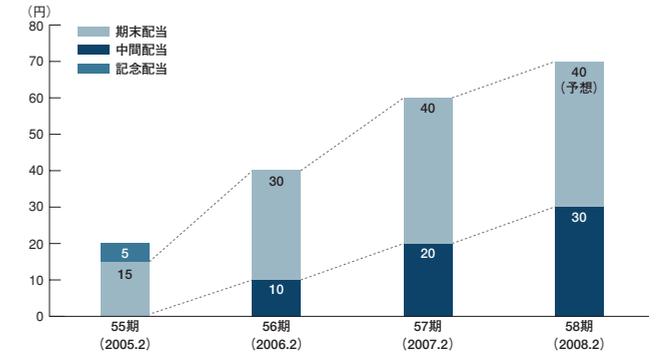


02 中間増配を決定しました。

当社は、魅力あるブランドの開発、商品の提供に必要な事業への投資を行い、一層の企業価値(株主価値)の向上を図っていくとともに、株主の皆様への還元についても安定した配当を維持しながら、業績に応じて増配を行っていくことを基本方針としています。

当期の中間配当金につきましては、期初において1株当たり20円(前中間期と同額)を予想していましたが、利益計画を上回ったことを踏まえ、10円増配の1株当たり30円に修正することといたしました。当期の期末配当予想は1株当たり40円(前期末と同額)ですので、年間配当は70円への増配予定となります。

■配当金の推移



03 経営報告会を開催し、事業展開をご説明いたします。

恒例となっております経営報告会ですが、より多くの株主の皆様にご参加いただけるよう、従来の東京に加えて、当期は大阪でも開催いたします。右記のとおり、どちらの会場も週末の開催となっております、株主の皆様との交流を図る貴重な機会と考えておりますので、多数の方のご参加をお待ちいたしております。

また、ご参加いただいた方には、ささやかな品ではございますが、エコバッグとTシャツをご用意しております。

なお、会場の都合等から従来の特別販売会は実施いたしませんので、予めご了承くださいようお願い申し上げます。

ポイント経営報告会

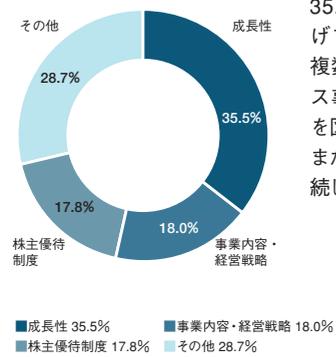
- 東京会場 日時：2007年11月17日(土) 11時～12時
(受付開始10時30分)
場所：六本木ヒルズ 49階
六本木アカデミーヒルズ オーディトリウム
- 大阪会場 日時：2007年11月18日(日) 10時30分～11時30分
(受付開始10時)
場所：ホテル阪急インターナショナル 6階 瑞鳥

※詳細は同封しておりますご案内状をご覧ください。

アンケート結果のご報告 | Questionnaire Result

当社では、株主の皆様のご意見、ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第57期年次報告書をお送りした、全ての株主の皆様を対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。
ご協力いただいた皆様にあらためてお礼申し上げますとともに、その結果の一部を以下のとおりご報告申し上げます。

■当社株式を購入された理由をお聞かせください。

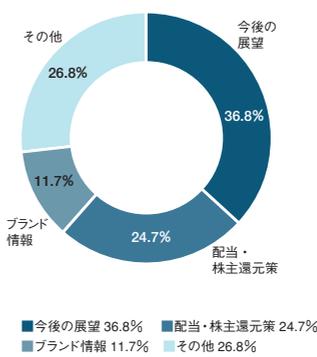


35.5%の方が「成長性」を理由に挙げてくださいました。当社としても、複数ブランドの開発育成やE-コマース事業の本格展開による事業拡大を図ってまいりたいと考えております。また、株主優待制度についても、継続していききたいと考えております。

調査概要

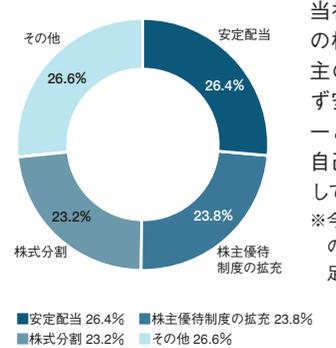
調査対象：全株主7,436名
調査方法：第57回定時株主総会決議ご通知に同封（2007年5月30日発送）
有効回答数：196件（返送率：2.6%）

■当社についてもっとお知りになりたい情報は何か。



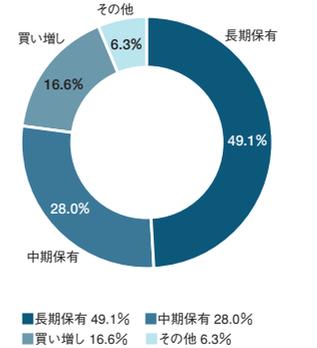
「今後の展望」が36.8%で最も高くなりました。年次報告書・中間報告書におけるご報告において、事業展開の進捗状況を詳しく記載するとともに、当社の今後の経営戦略の方向性をより分かりやすくご説明していききたいと考えております。

■当社に株主還元策として期待されることは何ですか。（複数回答可）



当社は、事業への投資による一層の株主価値の向上を図る一方、株主の皆様への還元については、まず安定した配当を継続することを第一とし、次に業績に応じた増配や自己株式の取得に取り組む方針としております。
※今回のアンケート結果において、62.3%の株主様が当社の株主優待制度にご満足いただいている結果となっております。

■当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。



「長期保有」が49.1%で最も高く、続いて「中期保有」(28.0%)、「買い増し」(16.6%)となっております。株式保有期間別の集計結果では、3年以上の中長期保有の株主様の66.7%が「長期保有」を保有方針とされていらっしゃいます。

皆様からいただきました貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結) | Financial Highlights (Consolidated)

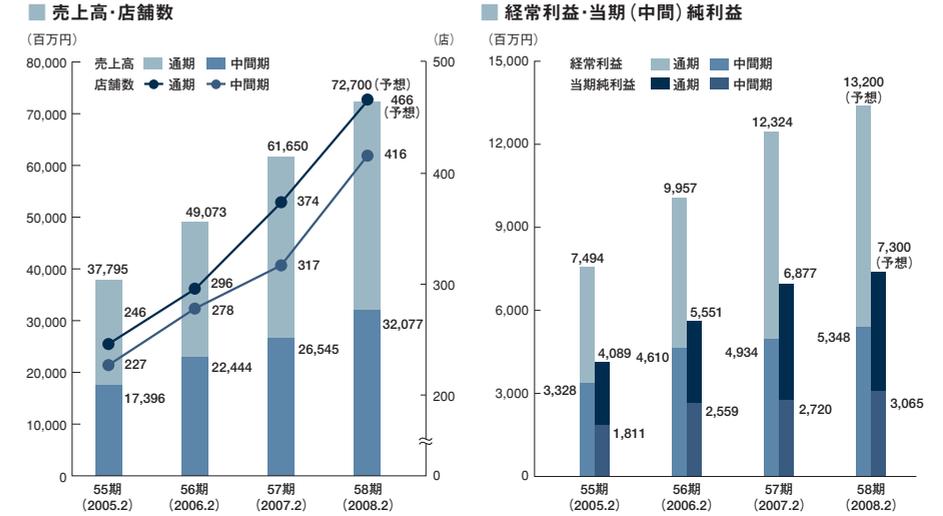
》》》連結決算サマリー

売上高 **320** 億円
(前中間期比20.8%増)

経常利益 **53** 億円
(前中間期比8.4%増)

中間純利益 **30** 億円
(前中間期比12.7%増)

中間期末店舗数 **416** 店舗
(前期末比42店舗増)



	55期 (2005年2月)	56期 (2006年2月)	57期 (2007年2月)	57期(中間) (2006年8月)	58期(中間) (2007年8月)
売上高(百万円)	37,795	49,073	61,650	26,545	32,077
経常利益(百万円)	7,494	9,957	12,324	4,934	5,348
当期(中間)純利益(百万円)	4,089	5,551	6,877	2,720	3,065
総資産(百万円)	23,196	29,160	34,377	29,383	34,043
純資産(百万円)	13,532	16,847	19,547	18,643	21,751
店舗数(店)	246	296	374	317	416
1株当たり当期(中間)純利益(円)	156.71	216.22	270.25	106.37	121.53
1株当たり純資産額(BPS)(円)	523.50	659.17	775.00	726.35	860.55
総資産当期純利益率(ROA)(%)	20.0	21.2	21.6	—	—
自己資本利益率(ROE)(%)	34.7	36.5	37.8	—	—

▶▶▶ たな卸資産
毎期末時点の商品状況に応じて、適切な評価を行っています。

▶▶▶ 保証金敷金
国内店舗数が42店舗増加したことに伴い、出店時にデベロッパへ預け入れる保証金敷金が増加しています。

▶▶▶ 一年内償還予定社債
2007年4月に社債5億円を償還しました。有利子負債のさらなる削減を進めました。

▶▶▶ 純資産
毎期着実な純資産の積み上げを図っています。



■ 中間連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	当中間期 (2007年8月31日現在)	前中間期 (2006年8月31日現在)	前期 (2007年2月28日現在)
●資産の部			
流動資産	17,583	18,629	22,543
現金及び預金	11,146	13,678	17,013
売掛金	2,873	2,302	2,536
たな卸資産	2,658	1,902	2,016
その他	961	792	1,022
貸倒引当金	△55	△46	△46
固定資産	16,459	10,753	11,834
有形固定資産	3,052	2,858	3,058
無形固定資産	237	128	156
投資その他の資産	13,169	7,766	8,619
投資有価証券	4,099	—	—
保証金敷金	7,216	6,032	6,688
その他	2,110	1,931	2,196
貸倒引当金	△257	△197	△265
資産合計	34,043	29,383	34,377
●負債の部			
流動負債	11,914	10,428	14,485
買掛金	6,617	5,329	7,381
一年内償還予定社債	—	500	500
短期借入金	35	81	55
未払金	2,453	1,781	2,496
未払法人税等	2,025	2,103	3,361
賞与引当金	739	588	610
その他	43	43	80
固定負債	377	312	345
長期借入金	13	49	28
賞与引当金	76	27	55
役員賞与引当金	100	39	67
役員退職慰労引当金	114	151	151
その他	73	45	44
負債合計	12,292	10,740	14,830
●純資産の部			
株主資本	21,676	18,594	19,487
資本金	2,660	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	2,517	2,517
利益剰余金	20,676	15,213	18,746
自己株式	△4,177	△1,796	△4,437
評価・換算差額等	40	35	34
新株予約権	33	12	25
純資産合計	21,751	18,643	19,547
負債及び純資産合計	34,043	29,383	34,377

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当中間期 (2007年3月1日～ 2007年8月31日)	前中間期 (2006年3月1日～ 2006年8月31日)	前期 (2006年3月1日～ 2007年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	582	803	8,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,044	△1,017	△2,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	△982	△4,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△5,868	△1,196	2,136
現金及び現金同等物の期首残高	17,009	14,872	14,872
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	11,141	13,675	17,009

▶▶▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー
新規出店・改装に伴う投資と、有価証券への投資を行いました。

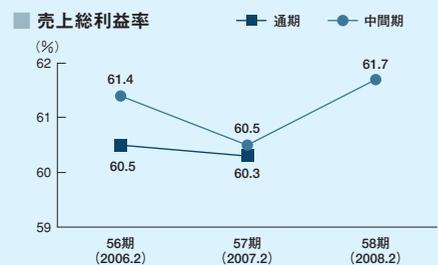
▶▶▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払と社債の償還を行いました。

■ 中間連結株主資本等変動計算書(要旨) 当中間期(2007年3月1日～2007年8月31日)

	株主資本					評価・換算 差額等	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
前期末残高	2,660	2,517	18,746	△4,437	19,487	34	25	19,547
当中間期変動額								
剰余金の配当			△1,007		△1,007	—		△1,007
中間純利益			3,065		3,065	—		3,065
自己株式の取得				△0	△0	—		△0
自己株式の処分			△128	259	131	—		131
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					—	6	8	14
当中間期変動額合計	—	—	1,929	259	2,189	6	8	2,203
当中間期末残高	2,660	2,517	20,676	△4,177	21,676	40	33	21,751

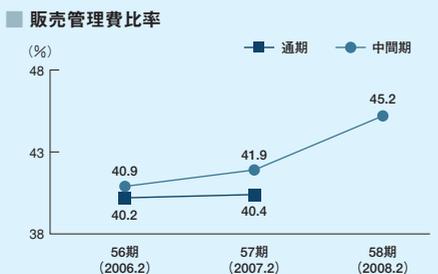
▶▶▶ 売上総利益の状況

各ブランドのアウトレット商品販売を行っているナインブロックスの販売力を強化したこと、並びに前年同期に行った2億60百万円の商品廃棄や従来からの厳格な商品評価が奏効し、売上総利益率は61.7%と前中間期と比較して1.2ポイント向上しました。



▶▶▶ 販売費及び一般管理費

広告宣伝の積極的な取り組みや人材の前倒し採用を計画的に実施したこと、また新規出店が前年同期よりも多かったこと等によりコストが増加しました。



■ 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2007年3月1日～ 2007年8月31日)	前中間期 (2006年3月1日～ 2006年8月31日)	前期 (2006年3月1日～ 2007年2月28日)
売上高	32,077	26,545	61,650
売上原価	12,280	10,497	24,483
売上総利益	19,797	16,048	37,167
販売費及び一般管理費	14,493	11,123	24,880
営業利益	5,303	4,924	12,287
営業外収益	65	31	87
営業外費用	19	21	50
経常利益	5,348	4,934	12,324
特別損失	252	236	439
税金等調整前中間(当期)純利益	5,096	4,697	11,884
法人税、住民税及び事業税	1,882	2,050	5,324
法人税等調整額	148	△72	△316
中間(当期)純利益	3,065	2,720	6,877

▶▶▶ 特別損失

退店・改装に伴う賃借契約解約に伴う損失、固定資産除却損及び減損損失が発生しました。

退店

当中間期は、店舗戦略の見直し等により、個々に十分な検討を行った結果、5店舗の退店を行いました。

改装

当中間期も、店舗鮮度維持、ブランド価値向上を狙って、15店舗の改装を行いました。



レイジブルー 仙台フォーラス店
(2007年6月リニューアル)

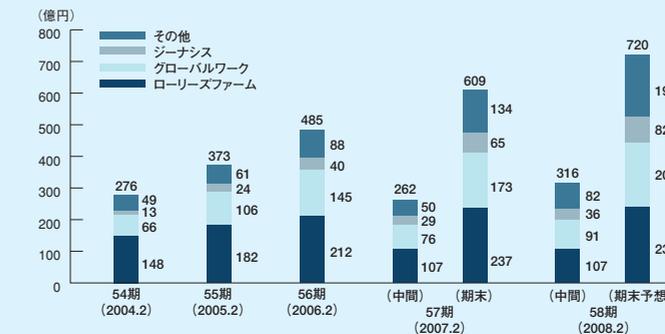
減損損失

一定の基準に基づき、減損損失を計上しています。当中間期は、1店舗が対象となり18百万円を計上しました。

▶▶▶ ブランド別売上高の推移

当中間期は、ローリーズファームが既存店のリニューアル等により107億円、グローバルワークが前期に引き続き15店舗の積極的な出店を行ったこと等により91億円を超える売上を計上し、堅調に推移しています。また、ジーナシスは36億円と前中間期比25.1%増の力強い成長を見せています。これら主要3ブランドに続くレイジブルー、ヘザー、ハレも期待通りの成長を遂げるとともに、前期に立ち上げた新ブランドであるアパートバイローリーズ、アンダーカレント、レブシムローリーズファームについても大きく伸長しました。

■ ブランド別売上高の推移(国内)



第58期(2008年2月期) 通期業績予想

下期の主な取り組み

大型店舗へのチャレンジ

- ・グローバルワークで大型店舗の出店
～グローバルワーク230坪
- ・グローバルワークが複数のカセットを持つことで新たなステージに

本部直轄店舗の設置

- ・大型店舗・コア店舗を中心に本部直轄店舗とし、本部とのコミュニケーションを強化
- ・エリアマネジャーは若手店長の店舗を重点的にフォロー

J-SOX対応の内部統制システム確立の推進

- ・下期中に業務プロセスの可視化に目処をつけ、第60期からの制度対応に備える

売上高 **727** 億円

経常利益 **132** 億円

当期純利益 **73** 億円

期末店舗数 **466** 店舗

■ 会社概要

会社名	株式会社ポイント
本部	東京都中央区八重洲二丁目7番2号 八重洲三井ビルディング10階
代表電話	03-3243-6011
設立	1953年10月
資本金	2,660百万円
代表者	代表取締役社長 石井 稔晃
事業内容	カジュアルウェア専門店チェーン
事業所	水戸本店 東京本部 国内店舗数 404店舗
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 常陽銀行
社員数	正社員1,234名
平均年齢	26.8歳

■ 取締役・監査役

代表取締役会長	福田 三千男
代表取締役社長	石井 稔晃
取締役専務執行役員 (管理本部・業務推進本部・情報システム担当)	遠藤 洋一
取締役専務執行役員(開発室担当)	勝山 章廣
取締役常務執行役員(営業本部長)	櫻井 健一
取締役執行役員(社長室長)	時松 克治
取締役	加藤 章
常勤監査役	新名 宏志
監査役	横山 哲郎
監査役	前川 渡
監査役	高橋 惇

※取締役のうち、加藤章は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※監査役のうち、新名宏志、横山哲郎、前川渡は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 連結子会社

株式会社ボジック	
資本金	10百万円
当社の議決権比率	100%
主な事業内容	当社取扱商品の物流業務
事業所	水戸物流センター、福岡物流センター、岩間物流センター

波茵特股份有限公司

資本金	10百万台湾ドル
当社の議決権比率	100%
主な事業内容	台湾における衣料販売業務
事業所	台北本部 台湾店舗数 12店舗

■ 株式の状況

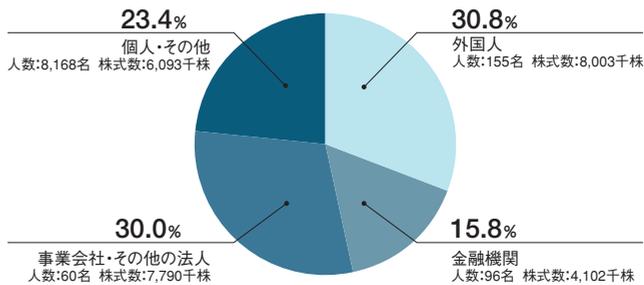
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	25,990,720株
株主数	8,479名

大株主(上位9名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社テツカンパニー	2,174	8.6
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,801	7.1
株式会社フクゾウ	1,510	6.0
株式会社武平	1,500	5.9
株式会社月岡	1,500	5.9
福田 三千男	1,299	5.1
ジェービーモルガンチェースオープンハイマー ファンズジャスデックアカウント	1,000	4.0
ザチェスマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	705	2.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	674	2.6

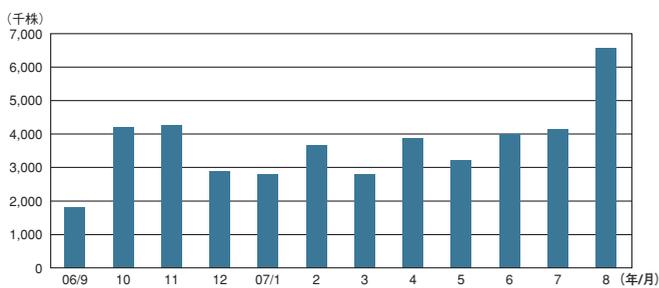
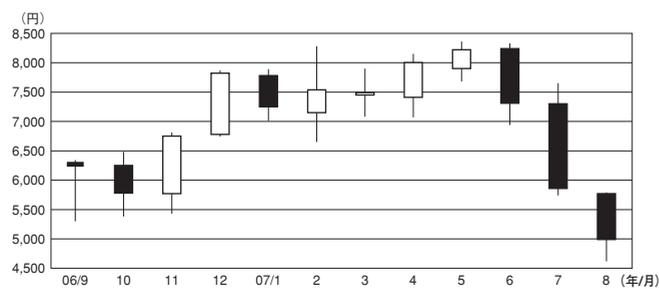
※出資比率は自己株式(753,494株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数分布状況



※金融機関には金融商品取引業者を含みます。

■ 株価・売買高の推移



当社のIRサイトでは、株主の皆様、投資家の皆様へのきめ細かな情報提供を目指し、ニュースリリースや売上速報などの迅速な情報開示のほか、動画による説明会様様の配信やIRメールの配信など、多彩なコンテンツを揃えています。IRメールにご登録いただいた方には、随時、当社の決算情報、月次売上概況、プレスリリース等のIR・企業情報を配信しています。皆様とのコミュニケーションを深める一助としたいと考えておりますので、是非ご活用ください。

ここからIRメール配信の登録ができます。

<http://www.point.co.jp/>

■ 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
株主総会	1. 定時株主総会は、毎年5月に開催いたします。 2. 臨時株主総会は、必要あるときに随時開催いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故、その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.point.co.jp/

お知らせ

○株式関係のお手続き用紙のご請求について
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
TEL 0120-244-479 (本店証券代行部)
TEL 0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>
なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある金融商品取引業者(証券会社等)にご相談ください。

■ 株主優待制度のご案内

当社株式をご所有の株主の皆様へ、全国の当社店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただきます。(権利確定日:2月末)

所有株式数	商品引換券贈呈額
10株以上100株未満	2,000円
100株以上1,000株未満	5,000円
1,000株以上5,000株未満	10,000円
5,000株以上	20,000円